

## 介護福祉士におけるレクリエーション支援の必要性について

○南條正人〔東北文教大学短期大学部〕 高崎義輝〔仙台大学〕

キーワード：介護福祉士教育、福祉レクリエーション教育、介護実習

### I. はじめに

B短期大学部では、人権を尊重する基本姿勢と深い人間愛、豊かな人間性を兼ね備えた、介護福祉における基礎的な実践力を有する人材の育成を目的とした介護福祉士を養成している。その介護福祉士教育の特徴は、福祉レクリエーション関連科目を多く設定するとともに、介護実習での福祉レクリエーション実践(計画書を含む)を達成課題に位置づけ評価の対象とするなど、福祉レクリエーション支援も出来る介護福祉士を養成することである。こうした取り組みは、地域の介護福祉施設から高評価を得ている。

そこで、今回はB短期大学部の介護実習における福祉レクリエーション実践を通して、学生が何を学び、介護福祉士として福祉レクリエーションの必要性をどう感じたかについて、アンケート調査を行い、その結果を考察する。さらには、介護現場におけるレクリエーション支援の現状・課題とレクリエーション支援に対する実習指導者の考えを明らかにし、介護福祉士教育における福祉レクリエーション教育の価値を検証する。

### II. 研究方法

#### 1) 調査1：学生（2年生）

対象の介護実習は平成24年8月16日からの27日間で実施され、介護実習終了直後にアンケート調査を実施した。対象者は46名（男11、女35）であった。

内容：介護実習におけるレクリエーション支援の実施に関するアンケート調査を実施した。

#### 2) 調査2：実習指導者

実習指導者と本学の介護実習担当教員との打ち合わせ会に参加した実習指導者86名（男21、女65）に対して、アンケート調査を実施した。

内容：介護施設におけるレクリエーション支援に関するアンケート調査を実施した。

倫理的配慮：調査1の対象及び調査2の対象とも、対象者の同意を得た。

回答の処理方法：本研究におけるデータ分析には、SPSS11.0.統計ソフトを用いた。

### Ⅲ. 結果及び考察

B短期大学部に所属している2年生を対象とし、介護実習終了直後にアンケート調査を実施した結果、介護施設におけるレクリエーション支援の必要性・効果があると考えられる。さらには、学生が介護実習におけるレクリエーション支援を通して、学びが伺えたことから、介護実習におけるレクリエーション支援の有益さが伺えたと考えられる。主なポイントは以下の通りである。

- ・対象者全員が介護実習におけるレクリエーション支援を通して、介護施設にレクリエーション支援が必要であると感じたこと。
- ・対象者全員が介護実習におけるレクリエーション支援を通して、利用者にとって、レクリエーション活動は効果があると感じたこと。
- ・介護実習におけるレクリエーション支援の必要性に関する理由において、「将来の必要性に関すること」や「利用者との関わりに関すること」等の理由を挙げていたこと。

また介護施設の職員かつ実習生の指導の立場である実習指導者へのアンケート結果から、9割に近い施設では、「定期的にレクリエーション支援が実施されていた」こと。また対象者全員が「レクリエーション支援が必要である」や「レクリエーション活動の効果がある」と回答したことから、介護施設におけるレクリエーション支援の必要性が明確になった。また、介護施設にレクリエーション支援の必要性が明確になったことから、介護福祉士教育における福祉レクリエーション教育の価値が示唆されたと考えられる。

### Ⅳ. 今後の課題

本研究では、介護実習におけるレクリエーション支援に関する報告と、介護現場におけるレクリエーション支援の現状と課題に関する報告をしたが、より根拠性のある結果を抽出できるように一連の検定手続きをいれた調査をしてみる必要がある。

さらには、介護実習におけるレクリエーション支援を必須としているカリキュラムを学んだ卒業生に対して、日常業務において、福祉レクリエーションを学んだことが、どのように活かされているかを明らかにする必要がある。

#### 【引用文献】

- 1) 高崎義輝・南條正人・小池和幸・仲野隆士 (2012) : キューイングを活用した授業の紹介とその学習成果—集団を介したレクリエーション支援の言葉がけのスキルの効果的な学習方法の開発—, 自由時間研究第 38 号, pp.49-60
- 2) 南條正人・高崎義輝 (2011) : 介護福祉士教育における福祉レクリエーション教育の価値, レジャー・レクリエーション研究第 68 号, pp.30-31